

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年11月13日

【四半期会計期間】 第120期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 株式会社ジェイテクト

【英訳名】 JTEKT Corporation

【代表者の役職氏名】 取締役社長 安形 哲夫

【本店の所在の場所】 大阪市中央区南船場三丁目5番8号

【電話番号】 大阪(6245)0856

【事務連絡者氏名】 経理部長 前田 昌彦

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区銀座7丁目11番15号

【電話番号】 東京(3571)6211

【事務連絡者氏名】 総務部東京総務室長 武藤 研司

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第119期 第2四半期 連結累計期間	第120期 第2四半期 連結累計期間	第119期
会計期間		自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高	(百万円)	742,918	721,957	1,520,893
経常利益	(百万円)	34,739	22,448	69,658
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	19,024	4,709	24,663
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	27,248	2,341	21,898
純資産額	(百万円)	591,057	554,101	571,080
総資産額	(百万円)	1,284,561	1,208,110	1,267,819
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	55.47	13.73	71.91
自己資本比率	(%)	42.90	43.19	42.32
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	53,255	26,244	103,022
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	34,712	41,407	75,324
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	4,787	1,813	26,592
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	144,492	112,838	132,471

回次		第119期 第2四半期 連結会計期間	第120期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()	(円)	18.71	4.33

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容に、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても、異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の激化、英国のEU離脱を巡る不確実性や欧州の景気低迷を受け、製造業を中心に減速基調となりました。また、世界の自動車業界では、百年に一度と言われる大変革期に対応するために世界的な再編の動きが活発化するとともに、CASE対応強化に乗り出してきており、今後の慎重かつ迅速な対応が求められます。

日本経済も、世界経済の減速を受けて輸出企業を中心に弱含み、更には、消費税率引き上げによる消費減退の懸念など、引続き先行き不透明な状況にあります。

このような状況の中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は7,219億57百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ209億61百万円(2.8%)の減収となりました。営業利益につきましては、211億85百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ113億99百万円(35.0%)の減益、経常利益につきましては、224億48百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ122億91百万円(35.4%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、47億9百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ143億14百万円(75.2%)の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

「機械器具部品」におきましては、日本や北米、中国を中心にベアリングの販売が大幅に減少したこと等により、売上高は6,401億62百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ178億61百万円(2.7%)の減収となり、売上高減少の影響に加え、売価水準の低下や研究開発費の増加等により、営業利益は139億9百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ105億71百万円(43.2%)の減益となりました。

「工作機械」におきましては、日本やアジアにおいて販売が減少したこと等により、売上高は817億95百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ30億99百万円(3.7%)の減収となり、営業利益は66億44百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ11億43百万円(14.7%)の減益となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、1兆2,081億10百万円と前連結会計年度末に比べ597億8百万円の減少となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の減少等により、6,540億8百万円と前連結会計年度末に比べ427億29百万円の減少となりました。

また、純資産につきましては、為替換算調整勘定の減少等により、5,541億1百万円と前連結会計年度末に比べ169億79百万円の減少となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローにつきましては、以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加や仕入債務の減少による資金の減少があったものの、減価償却費等の非資金損益項目の調整等により、262億44百万円の資金の増加となりました。(前第2四半期連結累計期間は、532億55百万円の資金の増加。)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、414億7百万円の資金の減少となりました。(前第2四半期連結累計期間は、347億12百万円の資金の減少。)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、18億13百万円の資金の減少となりました。(前第2四半期連結累計期間は、47億87百万円の資金の減少。)

これらに換算差額等を加減算した結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は1,128億38百万円となりました。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費は、324億76百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,200,000,000
計	1,200,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	343,286,307	343,286,307	東京証券取引所 (市場第一部) 名古屋証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	343,286,307	343,286,307		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日		343,286		45,591		108,225

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
トヨタ自動車株式会社	愛知県豊田市トヨタ町1	77,235	22.52
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	32,265	9.41
株式会社デンソー	愛知県刈谷市昭和町1-1	18,371	5.36
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	15,810	4.61
日本生命保険相互会社	大阪市中央区今橋3-5-12	11,125	3.24
株式会社豊田自動織機	愛知県刈谷市豊田町2-1	7,813	2.28
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内1-4-1	7,635	2.23
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町2-2-1	6,749	1.97
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1-1-2	6,366	1.86
豊田通商株式会社	名古屋市千代田区名駅4-9-8	5,969	1.74
計		189,342	55.20

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 277,000		
	(相互保有株式) 普通株式 76,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 342,682,100	3,426,821	
単元未満株式	普通株式 251,207		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	343,286,307		
総株主の議決権		3,426,821	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,600株(議決権16個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式35株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株)ジェイテクト	大阪市中央区南船場 3-5-8	277,000		277,000	0.08
(相互保有株式) 三井精機工業株)	埼玉県比企郡川島町八幡 6-13	76,000		76,000	0.02
計		353,000		353,000	0.10

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、PwC京都監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位 百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	135,542	116,104
受取手形及び売掛金	1 280,490	248,502
有価証券	14	7
たな卸資産	2 183,617	2 186,423
その他	48,268	42,808
貸倒引当金	775	768
流動資産合計	647,158	593,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	120,866	120,187
機械装置及び運搬具(純額)	224,110	213,186
その他(純額)	120,347	127,763
有形固定資産合計	465,324	461,138
無形固定資産		
のれん	7,583	7,251
その他	27,565	25,702
無形固定資産合計	35,148	32,954
投資その他の資産	3 120,187	3 120,939
固定資産合計	620,660	615,032
資産合計	1,267,819	1,208,110
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 221,034	181,294
短期借入金	43,570	51,014
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	7,610	16,054
未払法人税等	8,847	5,296
役員賞与引当金	624	304
製品保証引当金	7,165	6,474
その他	101,346	96,983
流動負債合計	400,198	367,422
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	162,380	152,754
役員退職慰労引当金	1,418	1,334
環境対策引当金	100	100
退職給付に係る負債	71,639	71,438
その他	10,999	10,957
固定負債合計	296,539	286,585
負債合計	696,738	654,008

(単位 百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,591	45,591
資本剰余金	107,000	107,246
利益剰余金	366,891	359,851
自己株式	423	424
株主資本合計	519,059	512,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,689	35,970
為替換算調整勘定	11,995	22,300
退職給付に係る調整累計額	4,274	4,169
その他の包括利益累計額合計	17,418	9,500
非支配株主持分	34,602	32,335
純資産合計	571,080	554,101
負債純資産合計	1,267,819	1,208,110

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	742,918	721,957
売上原価	620,520	613,724
売上総利益	122,398	108,232
販売費及び一般管理費	1 89,813	1 87,047
営業利益	32,584	21,185
営業外収益		
受取利息	696	750
受取配当金	1,181	1,130
持分法による投資利益	596	466
為替差益	849	-
その他	2,186	3,227
営業外収益合計	5,509	5,573
営業外費用		
支払利息	1,712	1,657
為替差損	-	1,341
独禁法対応費用	239	118
その他	1,402	1,193
営業外費用合計	3,354	4,311
経常利益	34,739	22,448
特別利益		
固定資産売却益	1,307	131
投資有価証券売却益	6	449
出資金売却益	1,102	-
その他	29	-
特別利益合計	2,445	580
特別損失		
固定資産除却損	610	792
減損損失	355	21
投資有価証券評価損	-	292
製品保証引当金繰入額	1,374	-
独禁法関連損失	210	265
事業構造改善費用	-	5,600
その他	213	0
特別損失合計	2,764	6,972
税金等調整前四半期純利益	34,421	16,056
法人税等	12,650	8,721
四半期純利益	21,770	7,334
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,745	2,624
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,024	4,709

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	21,770	7,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,682	2,311
為替換算調整勘定	3,908	11,709
退職給付に係る調整額	193	245
持分法適用会社に対する持分相当額	306	523
その他の包括利益合計	5,478	9,676
四半期包括利益	27,248	2,341
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,723	3,208
非支配株主に係る四半期包括利益	2,525	866

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	34,421	16,056
減価償却費	31,614	31,906
減損損失	355	21
のれん償却額	331	331
貸倒引当金の増減額(は減少)	164	167
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	1,078	563
退職給付に係る資産の増減額(は増加)	146	118
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	135	82
受取利息及び受取配当金	1,878	1,880
投資有価証券売却損益(は益)	6	448
投資有価証券評価損益(は益)	-	292
支払利息	1,712	1,657
持分法による投資損益(は益)	596	466
有形固定資産売却損益(は益)	1,307	131
有形固定資産除却損	610	792
売上債権の増減額(は増加)	25,272	25,696
たな卸資産の増減額(は増加)	10,907	8,066
仕入債務の増減額(は減少)	16,885	36,399
未払費用の増減額(は減少)	4,672	6,462
その他	1,937	2,533
小計	68,150	37,760
利息及び配当金の受取額	1,895	1,837
利息の支払額	1,675	1,887
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	15,115	11,466
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,255	26,244
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,780	2,981
定期預金の払戻による収入	1,788	2,775
有形固定資産の取得による支出	34,802	40,208
有形固定資産の売却による収入	1,754	680
投資有価証券の取得による支出	504	615
投資有価証券の売却による収入	29	1,279
出資金の売却による収入	1,269	-
貸付けによる支出	38	182
貸付金の回収による収入	155	279
その他	2,584	2,435
投資活動によるキャッシュ・フロー	34,712	41,407

(単位 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	19,709	9,546
長期借入れによる収入	11,909	3,540
長期借入金の返済による支出	25,159	3,300
ファイナンス・リース債務の返済による支出	233	362
配当金の支払額	7,546	7,546
非支配株主への配当金の支払額	3,466	2,532
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	1,157
自己株式の純増減額(は増加)	1	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,787	1,813
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,970	2,911
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	11,784	19,888
現金及び現金同等物の期首残高	132,648	132,471
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	60	255
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 144,492	1 112,838

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

㈱光洋マグネティックベアリング、FUJI AUTOTECH MOROCCO S.A.S.(モロッコ)の2社については、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の満期手形が前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	1,679百万円	百万円
支払手形	1,787百万円	百万円
設備関係支払手形	214百万円	百万円

- 2 たな卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
商品及び製品	71,195百万円	80,160百万円
仕掛品	45,189百万円	44,016百万円
原材料及び貯蔵品	67,233百万円	62,246百万円

- 3 投資その他の資産に含まれる引当金は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
貸倒引当金	341百万円	481百万円

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
製品保証引当金繰入額	1,071百万円	1,146百万円
給料及び手当	26,316百万円	22,037百万円
退職給付費用	1,650百万円	1,481百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	146,940百万円	116,104百万円
有価証券勘定に含まれる 現金同等物	15百万円	4百万円
預入期間が3ヶ月を超える 定期預金	2,464百万円	3,270百万円
現金及び現金同等物	144,492百万円	112,838百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	7,546	22	2018年3月31日	2018年6月28日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年10月31日 取締役会	普通株式	7,546	22	2018年9月30日	2018年11月30日	利益剰余金

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	7,546	22	2019年3月31日	2019年6月27日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年10月31日 取締役会	普通株式	7,546	22	2019年9月30日	2019年11月29日	利益剰余金

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント		合計
	機械器具部品	工作機械	
売上高			
外部顧客への売上高	658,023	84,895	742,918
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,226	4,987	6,213
計	659,250	89,882	749,132
セグメント利益	24,481	7,788	32,269

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	32,269
セグメント間取引消去	315
四半期連結損益計算書の営業利益	32,584

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント		合計
	機械器具部品	工作機械	
売上高			
外部顧客への売上高	640,162	81,795	721,957
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,408	5,243	6,651
計	641,570	87,038	728,609
セグメント利益	13,909	6,644	20,554

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	20,554
セグメント間取引消去	631
四半期連結損益計算書の営業利益	21,185

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額と時価との差額及び前連結会計年度に係る連結貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日に比し、著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末のデリバティブ取引の契約額等は、前連結会計年度の末日に比し、著しい変動はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	55円47銭	13円73銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	19,024	4,709
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	19,024	4,709
普通株式の期中平均株式数(千株)	342,972	342,970

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため、記載してありません。

2 【その他】

(1) 配当決議

2019年10月31日開催の取締役会において、第120期の中間配当を行うことを決議しました。

中間配当金総額	7,546百万円
1株当たりの額	22円

(2) 重要な訴訟事件等

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した重要な訴訟事件等はありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した重要な訴訟事件等について変更はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月12日

株式会社ジェイテクト
取締役会御中

PwC京都監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 松 永 幸 廣 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 田 村 透 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 田 口 真 樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ジェイテクトの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ジェイテクト及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。